

備後教区報

第 180 号

2023(令和5)年1月16日



ご縁を喜び、お念仏とともに

CONTENTS

- ◇寺号公称 50 年記念法要
- ◇人権に関する連続研修会
- ◇平和の集い
- ◇News & 活動情報
- ◇予報・インフォメーション

親鸞聖人 御誕生

50
立教開宗
00



本願寺備後教区報恩講法要並びに寺号公称50年記念法要(11月30日)

本願寺備後教堂報恩講 寺号公称 50 年記念 法 要

11月30日(水)、本願寺備後教堂報恩講法要並びに寺号公称50年記念法要が厳修された。

午前中の報恩講法要は、中組、御調西組より出勤のもと「廣文類作法」にて勤められ、午後の「寺号公称50年記念法要」は、石上智康本願寺派総長ご臨席、元教区勤式指導員、教堂責任役員代表出勤のもと「正信念仏偈作法第二種」にて勤められた。

講師は、本願寺派布教使、備後教区宗会議員、沼隈南組善正寺住職、那須英信師にご出講いただいた。

(文責・教区報編集員)

報恩講法要

報恩講法要の準備は、11月24日(木)、仏教婦人会会員による、仏具のおみがきからスタートした。また法要の数日前から「仏華の会」の方々が松や花を準備

され、荘厳な仏華、供物がお供えされ、法要をお迎えした。

当日は天候にも恵まれ、多くの方の参拝をいただき、午前10時よりお勤めがはじまった。中組、御調西組の法中が出勤され「廣文類作法」がお勤めされた。岡寄秀恵主管による『御伝鈔』

の拝読後、休憩をはさんで、那須英信師よりご法話をいただいた。

お昼の時間には、住職在職30年表彰、僧侶90歳表彰が行われた。



▲「仏華の会」による尊前の仏華



▲「仏華の会」



▲教堂ロビーの受付



▲仏教婦人会会員によるおみがき

寺号公称50年記念法要

法要開始前に、「備後教室50年のあゆみ」の映像が流され、午後1時30分より、「寺号公称50年記念法要」が厳修された。

「正信念仏偈作法第二種」のお勤めが、元教区勤式指導員、責任役員代表出勤のもと勤められた。

法要中には、石上智康総長、



那須英信宗会議員、助永一男門徒宗会議員、常光和信教堂責任役員が焼香された。法要引き続き、石上智康総長より祝辞が述べられた。(祝辞は別記)

那須英信師のご法話の後、「ボーモリーズ、結成20周年の表彰と、「ボーモリーズ」による演奏会、最後に岡崎秀恵主管よりお礼の挨拶があり、すべての日程が終了した。



▲那須英信師



▲記念法要のお勤め



▲常光和信教堂責任役員焼香



▲助永一男門徒宗会議員焼香



▲那須英信宗会議員焼香



▲石上智康総長焼香



▲岡崎秀恵主管挨拶



▲教区内役職者、歴代所長、多くの参拝者のなか厳かに勤められた



▲法要はYouTubeにて配信された



▲「ボーモリーズ」による演奏

表 白

敬って

大慈大悲の阿弥陀如来の御前に申しあげます
本日ここに 備後教区僧侶・門信徒並びに有
縁のみなさまとともに

阿弥陀如来の尊前を荘厳して 懇ろにお聖教
を誦読して 本願寺備後教堂寺号公称50年記
念法要をお勤めさせていただきます

思いますに 阿弥陀如来は 苦しみ惑う
私たちのために 大悲のご本願を成就され
釈迦如来は 濁世に現れて浄土の經典をお説
きくださいました

三国の高僧がたは この尊いみ教えを末代に
受け継ぎ

宗祖親鸞聖人は それを浄土真宗と名付け
本願力回向の宗義を明らかにされました

顧みれば この備後の浄土真宗のはじまりは

宗祖親鸞聖人のお流れを汲む明光師により

西国布教発祥の地として 伝えられ

安芸や山陰への教線拡大にあたって 大きな
役割を果たすご法義地でありました

備後においては 明光師開基寺院や流れを汲
む寺院

そして それらの門信徒によって弘く浄土真
宗のみ教えが受け継がれ 護持発展されてき
ました

（左ページ下段に続く）

本願寺備後教堂寺号公称50年記念法要

総長祝辞

このたび、本願寺備後教堂寺号公称50年記念法要が、誠に賑々しくご修行されますこと、衷心よりお慶び申しあげます。

この備後福山の地において、昭和47年6月7日に、備後教区教務所を併設する本願寺備後会館を宗教法人として設立し、寺号を公称して以来50年の節目を迎えられました。会館、教務所の設立にはじまり、今日まで護持発展にご尽力されたすべての皆さまの熱意とご尽力に、心から敬意を表します。

備後教区においては戦前・戦後の教区区画変更等により、教務所は独立した建物を持つことなく、一般寺院を間借りしながら光善寺、寂円寺、明浄寺と移転が繰り返される困難な中、親鸞聖人700回大遠忌法要の記念事業として、昭和35年に教務所兼仏教会館の建築計画が策定されました。



石上智康総長による祝辞



そこで光善寺より土地の提供を受け、教区内の皆様のご理解とご協力のもと、昭和45年10月に念願であった教務所を併設する本願寺備後会館が完成し、昭和47年には宗教法人として認証され、新たな歩みを始められました。

以後、昭和49年の第23代勝如ご門主のご巡教、昭和59年の第24代即如ご門主のご巡教等を機縁として、備後教区教務所・備後会館として多くの方に広く親しまれ、さらに、平成22年に本願寺備後教堂と名称変更してから後は、平成28年5月に行われた第25代専如ご門主の備後教区ご巡回、本願寺備後教堂ご巡拝では、多くの僧侶・門信徒が集い、備後教区の伝道教化の拠点としての役割を担ってきました。

今日、国内外は混迷を極め激変する現代社会にあつて、浄土真宗のみ教えが、一人でも多くの方に伝わるには、地方における教堂、教務所の役割は重要さを増しており、宗門一体となる持続可能な宗務組織の構築が求められています。

本日の記念法要を機縁に、専如ご門主さまのご親教「浄土真宗のみ教え」のお心を体して、今後、ますます本願寺備後教堂が備後教区の寺院、僧侶・氏族・門信徒の皆さまと一致協力し、広くお念仏のみ教えを伝えていくため、その機能を十分に発揮され、もって宗門の発展興隆に寄与されますよう念願いたします。

最後となりましたが、明年3月には、いよいよよご本山において「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお迎えいたします。皆さまには、ぜひともご参拝くださいますようご案内申しあげ、祝辞といたします。

令和4年・2022年11月30日

浄土真宗本願寺派 総長 石上智康

時代を経て

戦後 本願寺備後教堂は親鸞聖人700回大遠忌記念事業として 備後教区僧侶・門信徒のご理解とご協力を得てお念仏のみ教えを弘める道場として建立され 教化センターとして教務所と連携をし 今日に至っております

このたびの寺号公称50年を機縁として 混迷する社会にあつて ますます教堂がお念仏の中心道場として世の中を照らし 人々を導き いつまでもいつまでも 阿彌陀如来のお法が伝えられますことを

本願寺備後教堂主管

釋秀恵

謹んで申しあげます



人権に関する連続研修

同朋社会部会

【差別やいじめのない社会に】

7月12日(火)、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により昨年度2月より延期となっていた2021(令和3)年度、2023(令和5)年度(備後教区 新しい時代の念仏者養成のための)人権に関する連続研修―御同朋の社会をめざして―

【差別やいじめのない社会に】第二回(以下養成研)が開かれた。

このたびの講師には、岡宏先生(近畿大学生物理工学部講師、山口教区美祢東妙覚寺住職他)をお招きし、「障害者と人権を考える―ニーズの普遍性―障害学習の基礎」をテーマに講義をいただいた。講義のはじめに、脳性まひとともに生き抜かれた遠藤滋さんについて講師より紹介があった。

遠藤滋さんは、1947年に静岡県で生まれ、6歳の頃に東京都世田谷区に引っ越し、東京都立光明養護学校で学び、中・高を経て大学卒業後、1974年に26歳で

同学校の教諭として活動し、地域の公共施設のバリアフリー化等の活動も積極的に展開された。

90年代初頭には自宅で寝たきりの状態となったが、独自に若者を中心とした介助者とのネットワークを築き、遠藤滋さん本人のありのままのいのちの姿を介助者と共有する「えんとこ(遠藤のいるところ、縁のあるところ)」で、今年の5月に74歳で逝去されるまで過ごされた。

御同朋の社会をめざして



その遠藤さんが、ご自身のいのちを通して、「障害があってもちゃんと生きていけるように社会を実現していかなきゃいけない」と願い続けられたことを講師が述べられ、障害者と人権を考える視点として、「障害があってもなくても誰もがちゃんと生きていける社会の実現」に取り組むことが重要であると示された。

また、講義では「障害」をどのように考えるか、障害学のモデルを通して基礎を学んだ。

モデルは大別して、医学モデルと社会モデル(オリバー型)の二つがあり、一つ目に個人の心身機能の疾患や機能障害によって活動制約が生じることを障害としてとらえ、個人に対する治療によって問題解決に取り組む医学モデルを挙げられた。

二つ目には、障害を個人の問題としてとらえるのではなく、社会の理解不足や環境が原因で個人の活動に制限・制約が生じていることを障害ととらえ、社会全体の理解と環境改善によって問題解決に取り組む社会モデル(オリバー型)を挙げ、ご説明いただいた。

さらに、講師から社会モデル(オ

教区月報

11月 (November)

1日 門徒総代会研修会(第一会場)
2日 門徒総代会研修会(第二会場)
7日 同朋社会部会
11日 団長・副団長会議
9日 法要常任委員会
10日 法式法務専門委員会

11日 教堂常例法座 (オンライン)
15日 子ども・若者ご縁づくり

推進委員会(オンライン)
16日 おつとめ教室・勤式練習会
24日 仏教婦人会おみがき・役員会
30日 教堂報恩講法要・寺号公称50年記念法要

12月 (December)

2日 仏婦お寺訪問 (三谿組 明覺寺)
3日 門徒推進員聞法会 (備中里組 浄心寺)

5日 法要委員会行事部会
6日 青年布教使研修会
10日 第2回法要委員会
11日 教堂常例法座
13日 門信徒部会
15日 IT専門委員会
17日 仏壮理事会

次回は

〇期 日 2023 (令和 5) 年 2 月 16 日 (木) 午後開催予定

〇場 所 本願寺備後教堂 本堂

〇テーマ 「性と人権を考える 性 マイノリティー 人権」

〇講 師 本多 彩 先生 (兵庫大学准教授)

石川 直子 先生 (性同一性障害 まりあの会代表)

一切の生きとし生けるものは 幸福であれ 安穩であれ 安楽であれ

スッタニパーダ

安穩とは恐怖もなく、危害を加えられることもないこと。
そんな願いを受けて「あなた」も「わたし」も、差別やいじめのない誰もが生きやすい社会をつくるため、少し立ち止まって一緒に「人権」について学びませんか？
ワークショップなどを交えた楽しい講座です。多くのご参加をお待ちしております。

参加費：各講座 1,000 円 (講座ごとにお申し込みができます)

主 催：備後教区事業推進委員会

担 当：同朋社会部会

詳細は今後のご案内をご覧ください

リバー型) に対するジェニー・モリスやハーラン・ハーンなどからの批判を踏まえて、すべての人が何らかの疾患や障害と無縁ではないられないこと、そして、すべての人が潜在的に障害者と同じニーズを抱えているという「ニーズの普遍性」を認識することが、「障害

があつてもなくてもちゃんと生きていける社会の実現」に向けて必要であることと教示いただいた。このたびの養成研を通して、参加者16名それぞれが、障害者と人権について学びを深める一日となった。

〈同朋社会部会事務局〉

常例法座

(毎月11日)
出講者(敬称略)

1月

「もつ、間に合っています」

福山市 大東坊 那須智雄

2月

「大丈夫」と届く

弥陀のよび声」

神石高原町 法泉寺 川上順之

3月

「立教開宗800年」

三次市 西覺寺 伊川大慶



『教区報』の編集にあたり、皆様のご意見やご感想、情報の提供をお待ちしています。教区報専門委員会まで、ご一報ください。

FAXTEL (084) 924-5759
(084) 931-9323

21日 組長会
22日 少年連盟役員会
28日 午後から休館(1/9日)

予報

1月(January)

11日 教堂常例法座

18日 おつとめ教室・勤式練習会

19日 法務法務専門委員会

20日 寺院サポート講座(オンライン)

23日 憲法を考える研究会

25日 実践運動事業検討委員会

26日 布教団役員会

27日 広報伝道部会

28日 仏壮セミナー

2月(February)

1日 第3回真宗講座

2日 第4連区実践運動協議会

9日 矯正教化広島管区支部研修会

11日 教堂常例法座

13日 仏婦役員会

15日 おつとめ教室・勤式練習会

16日 第3回養成研

第26回備後教区

平和のつどい

倉敷市マービーふれあいセンター

去る10月21日(金)、倉敷市マービーふれあいセンターにて、第26回備後教区平和のつどいが開催され、多くの方が訪れ、「平和」について考える機会を持った。

(文責・教区報編集委員)



備中里・中・奥組の法中による、正信念仏偈作法第二種での追悼法要の後、「ひろしま原爆被爆者の叫び」と題して、日本原水爆被害者団体協議会代表委員、広島県原爆被害者団体協議会理事長、安芸教区山県中組明覚寺門徒総代である、箕牧智之(みまきとしゆき)先生にご講演をいただいた。

以下、箕牧先生のお話より抜粋。

原子爆弾投下により、焦土と化したヒロシマ。戦後、その爆心地に程近い焼け野原の中に小さなバラックが建てられました。キャラメルを作る小さな製菓会社の工場だったのです。松尾製菓と云う名前でした。戦後の広島を元気づけようと甘いお菓子を売り出したのですが、何しろ物資は不足。原料も粗悪なものしか手に入りません。しかも、関東・関西には既に森永、グリコと言った有名会社があり、とても太刀打ちが出来ません。キャラメルは少しも売れないのでした。

途方に暮れたある日、松尾さんは広島市中を流れる7つの川を眺めながら、「そうだ！川海老を獲って煎餅を作

「ひろしま原爆被爆者の叫び
～念仏者として～」

菓と云う名前でした。戦後の広島を元気づけようと甘いお菓子を売り出したのですが、何しろ物資は不足。原料も粗悪なものしか手に入りません。しかも、関東・関西には既に森永、グリコと言った有名会社があり、とても太刀打ちが出来ません。キャラメルは少しも売れないのでした。

途方に暮れたある日、松尾さんは広島市中を流れる7つの川を眺めながら、「そうだ！川海老を獲って煎餅を作



▲箕牧智之先生による講演

お坊さんステーション

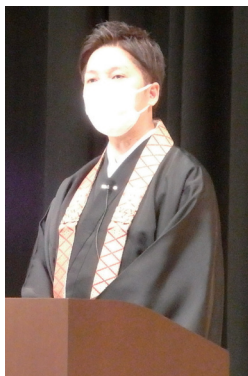
放送時間

月曜…午後6:10頃

木曜…午後6:10頃

FM77.7MHz Radio BINGO

19日	第4連区門推実践運動研修会
(20日)	安芸教区
21日	僧侶研修会
27日	布教団総会
3月(March)	
8日	得度講習会(9日)
10日	得度考査
11日	教堂常例法座
15日	おつとめ教室・勤式練習会
16日	春季彼岸特別布教大会 (備中里組 浄心寺)



▲山下瑞門師

るのはどうだろう？」と思いつきま
す。果たして、味の良い川海老を
使った煎餅は大ヒット！ 広島市
民はその美味しさに大いに勇気づ
けられました。

その頃になると、松尾さんの元
にも色々アメリカの様子が情報
として入ってきました。一番驚い
たのは、アメリカの子ども達と日
本の子ども達との体格の差でし
た。胸を痛めた彼がよくよく調べ
てみますと、日本の子ども達に決
定的に不足している栄養素があり
ました。それは、カルシウムとビ
タミンB₁₂だと判明しまして、以来
それらをふんだんに摂れるお菓子
を作る会社として、社名を「カル
ビー」と改め、今日に至ります。
当然、そのお菓子とは皆さん良
ご存知の「カルビー かつぱえび
せん」です。

こうした企業はほんの一例でし
て、私もまた同じ被爆者の方々と
手を取り合い、そして念仏者とし

て平和の大切さをお伝えすること
を、務めと思つて頑張つており
ます。ヒロシマから発信して行く
「平和への願い」を、「阿弥陀さま
の願い」とともにお伝えして行け
たらと思っています。

また、先生の講演の後には本願
寺派布教使、奥組浄福寺住職・山
下瑞門師による法話があった。正
信念仏偈中、「真宗教証興片州、
選択本願弘惡世」を紐解き、ご開
山のご解釈に照らしてお話くだ
された。

明けぬコロナ禍、そしてロシア
のウクライナ侵攻が今なお続いて
いる現代の世で、今回の「平和の
つどい」開催は大変に意義がある
ものであった。そして、この真備
の地が僅か4年前には平成30年西
日本豪雨の被害により水没し、こ
こふれあいセンターの駐車場が当
時、運び込まれた瓦礫の山となつ
ていた事を思いだす。今、真備の
街は少しずつ元氣を取り戻しつつ
ある。「殺すなかれ。そして、全
てのいのちはお互い密接に繋がり
合い、支え合つて存在している」。
こんな時代だからこそ、釈尊のみ
教え、お念仏を胸に歩んでいき
たいと思う。

News & 活動情報

連研のための研究会

連研

10月18日(火)、本願寺備後教
堂にて連研のための研究会を開催
した。講師に元『連研』補助資料
作成部会委員の麻布明徳師(東海
教区中勢組善福寺)にお越しいた
だき、連研新教材の活用について
お話いただいた。新たに発刊され
た『連研のすすめ』(本願寺出版社)
は、全面カラーで写真も見やすく、
連研開催に向けた準備段階より活
用できる教材となつている。その
他、門信徒教化部で作成されたD
VDや、宗派公式HPにアップさ
れている動画も紹介いただいた。
新型コロナウイルス感染症の影響
により、各組での連研開催は今ま
で以上に難しくなっているが、改
めて連研の意義を再確認する研
会となった。

こころの貧困に寄り添う

仏婦寺婦

10月20日(木)、本願寺備後教
堂にて仏婦・寺婦合同による実践
運動研修会を開催し、会員60名が
参加した。臨床心理士、またお
坊さんチューバー等、多方面
で活躍されている武田正文師(山
陰教区邑智東組高善寺)にお越し
いただき、「こころの貧困はどこ
にあるのか?—自己肯定感の歪み
から考える—」と題してお話し
いただいた。宗門では実践運動重点
プロジェクトの実践目標にて貧困
の克服に取り組んでいる。経済的
貧困のみにとどまらず、こころの
貧困にどう
向き合い、
念仏者とし
てどう寄り
添うことが
自他共に心
豊かに生き
ることにつ
ながるのか
を考える研
修会となつ
た。



臨時教区会

教区会

10月26日(水)、本願寺備後教堂にて令和4年度臨時教区会が招集された。財務承認議案となる令和3年度備後教区各種会計歳計決算7件を上程、事務局より説明の後採決が行われ、満場一致の承認をいただいた。

連区研修会・
教区仏壮連盟親睦旅行

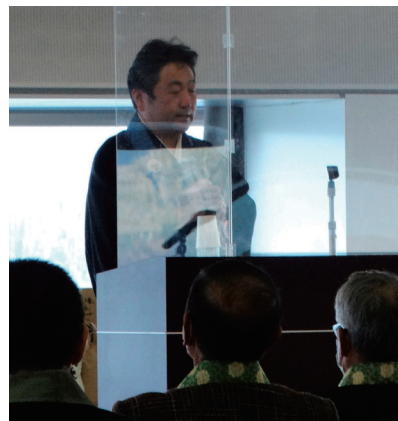
仏壮

10月29日(土)～30日(日)、山陰教区での第13回第4連区仏教壮年会会員研修会に併せ備後教区仏壮研修旅行を計画し、教区内会員30名が参加した。研修会では「これからの仏教壮年会」をテーマとし、武田正文師(山陰教区邑智東組高善寺)、波北顕師(山陰教区江津組光善寺)よりそれぞれ



▶ 甲田仏壮連盟理事長

それぞれ



▲波北先生による講義



▲武田先生による講義

教区門徒総代会研修会

門徒総代

11月1日(火)、2日(水)の2日間、午後半日ではあるが、3年ぶりに南部北部分かれての2日間で開催し、115名が参加した。北山祐章師(沼隈南組光源寺住職、仏教壮年会連盟講師)を講師に迎え、「ご親教『浄土真宗のみ教え』をいただきたい」と題し、お話をいただいた。

令和5年にお迎えする親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に向けて、ご門主が示された「浄土真宗のみ教え」の言葉に込められた意味を説明しつつ、先生自身の体験から今ここで救いくださる阿弥陀様のみ教えについてお話しいただいた。



▲北山祐章師

僧侶研修会ご案内 2023 (令和5) 年2月21日 (火)

講 題

「凡夫として生きる 一仏教徒・念仏者の姿」

会 場 御調東組 照源寺

講 師 本願寺司教

内藤昭文 師

参加費 2,500円 (弁当代含)



日 程

10:30 開会式
11:00 講 義
12:00 昼 食
13:00 講 義
15:00 質 疑
15:20 閉会式

青年布教使研修会

布教団

12月6日(火)、備後教区布教団青年布教使の会主催による、2022年度青年布教使研修会を開催した。講師に、安部恵証副団長(三次組善照寺住職)をお迎えし、「雑行を棄てて本願に帰す御誕生850年・立教開宗800年―問われているもの―」をテーマに講義をいただいた。
青年布教使の会会員にとって、実のある研修会となった。



備後教区・本願寺備後教堂

親鸞聖人御誕生800年
立教開宗750年 慶讃法要並びに協賛行事

スローガン 「ご縁をよろこび お念仏とともに」

コンセプト

これまで仏教や浄土真宗の教えにあまり親しみのなかった方々へ仏教を身近なものとして感じていただくとともに、将来の仏縁へと広がる法要行事とする。

慶讃法要 「新制御本典作法」依用

2023 (令和5) 年9月15日(金) 13時より

会場 本願寺備後教堂 本堂

※法要後に帰敬式を実施いたします。

※法要の様子は、動画配信サイトYouTubeにてライブ配信いたします。

※教堂収容人数により、参拝は帰敬式受式者、教区教堂役職者に限りさせていただきます。

協賛行事

「親鸞聖人讃仰のつどい」

2023 (令和5) 年9月16日(土) 13時～16時(予定)

会場 ふくやま芸術文化ホールリーデンローズ大ホール

新たな仏縁となるよう、多くの方に楽しんでいただける企画を法要委員会にて現在準備しております。

詳細な内容については決定次第早急にお知らせいたします。ご家族そろってのご参加お待ちしております。

得度許可

おめでとう
ございます

〔敬称略〕

奥組 佛源寺

天野砂和子(釋誓和)

(令和4年10月16日付)

備中里組 正専寺

藤田 大地(釋和信)

比婆組 光縁寺

渡邊伽南子(釋伽恩)

(令和4年10月28日付)

教師授与

おめでとう
ございます

〔敬称略〕

御調束組 尊光寺

武田 道俊(釋道俊)

(令和4年10月5日付)

敬 弔

お悔やみ申し
上げます

〔敬称略〕

芦田組 西教寺 前住職

長 專修(10月27日寂)

世羅組 教専寺 坊守

福岡千津子(11月27日寂)

芦田組 明浄寺 前住職

立神 啓道(12月13日寂)

比婆組 在安寺 住職

渡辺 義宣(12月26日寂)

御調束組 法光寺 前住職

季平 博道(12月27日寂)

お詫びと訂正

教区報179号5ページに誤植がございました。

【誤】 大原亮蔵司教

【正】 福原亮蔵司教

お詫びして訂正します。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

■「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」策定

この度の慶讃法要ご修行にあたり、法要参拝をはじめとする各種関連行事等の開催にかかる新型コロナウイルスへの感染リスクの軽減を図るとともに、参拝者及びスタッフ等の関係者が遵守する事項を定めたガイドラインとなります。法要参拝にあたっては、事前の確認をお願いしますとともに、感染対策実施についてご理解ご協力いただきますよう、お願いいたします。

※本ガイドラインは宗派公式ウェブサイトにある慶讃法要特設ページ、または宗報2023年1月号にて掲載されます。

本山成人式の参加者を募集

成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴う移行措置として、また新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった本山成人式の対象者を含め、今回に限り参加対象年齢を18歳から21歳とし、広く募集する。

開催期日 2023（令和5）年3月12日（日） 於：本願寺阿弥陀堂

日程

09：30 受付開始
10：35 記念撮影
11：00 式典
11：30 記念法話
12：00 終了

参加対象

- ・18歳～20歳〈2002（平成14）4月2日生まれ～2005（平成17）年4月1日生まれ〉
- ・21歳 ※2022（令和4）年の本山成人式は新型コロナウイルス感染拡大により中止したため、21歳も対象とします。

参加費 無料

申込締切 2023（令和5）年2月17日（金）

※詳細は宗報 2022年11・12合併号をご覧ください



この度、備後教区僧侶宗会議員 那須英信氏より、宗会議員就任にあたり左記物品を寄贈いただきました。

一、五色幔幕
一、教堂玄関幕



寄贈

ありがとうございます

御影堂閉鎖のお知らせ

御影堂の音響・照明機材等更新を行うため、御影堂が閉鎖されます。

1月18日（水）～3月16日（木）

閉鎖期間中、阿弥陀堂北脇壇に宗祖御影を奉懸いたします。

編集後記

▼まもなく親鸞聖人御誕生

850年、立教開宗800年をお迎えします。▼各地でお待ち受け法要や関連行事が開催され、親鸞聖人のお名前を聞くことが多くなりました。3月25日より京都国立博物館では、特別展「親鸞 生涯と名宝」として史上最大規模の展示がおこなわれます。特筆すべきは『教行信証』の三本を初めて同時に見ることができることです。自筆本である東本願寺の坂東本（国宝）をはじめ、重要文化財である西本願寺本と高田専修寺本を同時に拝見できることを私は楽しみにしています。▼節目の年を迎え、伝統を護ってこられた先人方の思いを受け継ぎ、親鸞聖人のご生涯と名宝に触れながら、尊い時間を過ごしたいと考えています。

（K・K）